

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名 たらびあぼけっと中山駅前教室

公表日 2026年 3月 15日

利用児童数 33名 回収数 25名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1			・個室大部屋等沢山有ると思います。	・活動内容やお子様の特性に応じて環境を調整できるよう、個別室と集団室を設けています。今後も安心して過ごせる環境づくりを大切にしております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3			・1対1で対応して頂ける、どの先生も落ち着いて、子供の言葉にも優しく耳を傾けて下さる。	・温かいお言葉をありがとうございます。お子様一人ひとりの思いや言葉を大切に受け止めることを職員一同心がけています。今後も安心して過ごせる関わりを継続していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2				・教室内の配置や出入口の環境については、施設の種類条件の中で療育的な意味を持たせた配置となるよう工夫しております。気になる点やご不便な点がございましたら、どうぞお気軽にお声がけください。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			・靴の着脱時に少しの段差(牛乳箱くらい)があると、しやすいかなと思います。 ・集団・個別としっかり切り替えられ、活動に合わせて部屋も変わっている。	・貴重なご意見ありがとうございます。安全面も考慮しながら、踏み台などの設置について検討してまいります。 ・活動の目的やお子様の状態に応じて環境を調整することを大切にしています。今後も効果的な支援環境を整えていきます。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	2			・こどもの変化、成長を理解しながらの対応は高い専門性を感じる。	・今後も研修や学びを重ねながら、より専門的な支援を提供できるよう努めてまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1			・運用上、終了時間を早めざるえないと思うので、表示も40分ないしは50分とした方がよいと思います。	・運用面についてのご指摘ありがとうございます。実際の活動時間との整合性を踏まえ、表示方法について検討してまいります。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	2			・少しずつ本人の力がついているのが分かり、成果を感じやすい支援内容だと思います。 ・家庭での様子・集団での様子もしっかり把握されて、計画内容もわかりやすい	・お子様の成長と一緒に感じていただけてとても嬉しく思います。今後も一人ひとりの力を引き出す支援を大切にしていきたいです。 ・今後も保護者様や園との情報共有を大切にしながら支援を進めてまいります。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	3			・子どもの興味関心を大切に、伝えるとすぐ活動に反映してくださるので、活動が固定化されず、楽しんで参加できていると感じます。	・お子様の「好き」や「やってみよう」を大切にすることが、主体的な参加につながるかと考えています。今後も柔軟に活動へ取り入れていきます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	1	1	7	・幼稚園から質問があった場合、大変丁寧に回答をまとめていただけるので、幼稚園も大変感謝しています。 ・積極的に保育園と連携を図って頂いている。集団場面のアドバイスが頂ける。 ・何か有ったらすぐ駆けつけてくれます。	・園との連携はお子様の成長にとってとても大切だと考えています。今後も丁寧な情報共有を行ってまいります。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	1	5	・無理のない程度で、発表会的なことができると楽しそうです。(子どもにもわかる目標設定)	・貴重なご提案ありがとうございます。お子様の負担にならない形で、目標を持って取り組める機会について検討してまいります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	23	2				・こまめな面談があり共通理解できていると感じる。	・保護者様との共有を大切にしながら、今後も定期的な面談を継続していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2			・毎週聞き取りとそれに伴うアドバイスを頂く機会があり、都度困り事や悩みを解決でき、本当にありがたいと思っています。 ・タイムリーに相談できる場があるので安心につながっていると思います。 ・成長したことや困りごとを親身に聞いてくださり、定期的な面談や助言を通じて孤立感から救われていると感じます。	・お子様の成長を支えるためには、保護者様と状況を共有しながら一緒に考えていくことがとても大切だと考えております。また、子育ての中で感じる悩みや不安をご家庭だけで抱え込まず、安心して共有していただける場所でありたいと考えております。今後も日々の小さな変化やご心配なことを気軽に相談いただける環境を大切に、保護者様とお子様へ寄り添った支援を続けてまいります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				1	・いつも先生には助けってもらってます。 ・とても共感して下さり、子や親のことも肯定してくれる。何が得意なのかもう少し教えてほしい。	・ご意見ありがとうございます。お子様の課題や支援の意図について、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	2	4	10	9	・難しいとは思いますが、放デイの情報交換等を含めて、他の保護者と交流できたら助かります。(終了前の待ち合いスペース等があると、おのずと発生するかと)	・貴重なご意見ありがとうございます。保護者同士の交流の機会や環境づくりについて、今後検討してまいります。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1			3		・現在は週に一度を目安にお話を伺う機会を設けておりますが、そのタイミングに限らず、ご相談ご希望がございましたらいつでもお知らせください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1					・お電話のほか、メールやLINE等の連絡手段を整え、保護者の方が相談しやすい体制づくりを行っています。お困りごとやご相談があった際には面談の機会を設けておりますので、お気軽にお知らせください。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15		1	9			・支援の準備や相談支援を優先していることから、情報発信の頻度は多くありませんが、今後はTwitterやInstagram、Googleの投稿欄等を通して発信の頻度を高め、教室での様子をお伝えできるよう努めてまいります。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				1		・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関するマニュアルおよび研修内容に基づき、鍵付き書庫等で保管し、適切かつ厳重に管理しております。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	3		2	相談室内にファイルとしてまとめ、職員がいつでも閲覧できるようにしています。また、ガイドラインに則り定期的に訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		2	毎年5月と11月に避難訓練および総合訓練を実施しております。すべての利用児童に対し、避難訓練の導入から、防災頭巾等の着脱、実際の避難経路の確認や入口までの避難などを体験していただき、安全に行動できるよう取り組んでいます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	3		2	順番を守ることや待つこと、手洗いなどの生活マナーをはじめ、安全に関する知識について、定期的に「はじめの会」等の時間を活用し、プログラムを通して伝える取り組みを行っています。また、通年の安全計画については、相談室にて閲覧できるようにしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			7	事故等の経験はありませんが、万が一の際も迅速に対応していただけると感じており、安心して預けています。 各種緊急時対応マニュアルに則り、安全管理を最優先に、安心して通える環境を維持しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			子どもの特性に合わせた対応をしてくださるので娘も前向きに取り組んでいると思います。 どの先生でも安心して預けることができ、子供も安心して過ごせている。 子供の成長に合わせたきめ細やかな支援をいただけており、保護者への寄り添いも丁寧で専門的な知識、考え方がとても素晴らしいと感じています。 お子様一人ひとりの特性や成長の段階に合わせた支援を大切にしながら、安心して過ごせる環境づくりを心がけています。保護者様にも安心してお任せいただけるよう、職員間で情報共有を行いながら丁寧な関わりを続けてまいります。今後お子様と保護者様に寄り添った支援の充実に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1		1	プログラム内容が毎回少しずつ変わり、早く行きたい!と言うほど楽しんでいる。 いつも楽しみにしています。 毎日とても楽しみにしています。 お子様が「行きたい」と楽しみにして通ってくださっていることを、職員一同とても嬉しく思っています。今後もお子様の興味や成長に合わせて、楽しみながら取り組める活動を大切に、安心して通える教室づくりを続けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2		1	てらびあに通ってよかったと感じていただけていることを、職員一同大変嬉しく思っています。今後もお子様と保護者様のお気持ちに寄り添いながら、小さなお悩みにも丁寧に対応し、安心して通っていただける教室づくりに努めてまいります。いただいたご期待にも応えられるよう、支援の充実に取り組んでまいります。 とても満足している。 大満足です。ずっと通いたいです。放デイつくってください!! 親子共々サポートしていただいています。 放課後等デイサービスの増設については、現在のところ難しい状況ではありますが、地域の放課後等デイサービスの情報提供や引き継ぎ体制の整備などを行い、今後もお子様と保護者様が安心して支援を継続できるよう努めてまいります。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名	てらびあぼけっと中山駅前教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・お子様の支援につながる環境づくりを職員間で常に検討しながら、スペースの配置等について試行と改善を重ねています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		・どのような状態のお子様にも適切に対応できるよう、職員が安心して支援に入れる体制づくりに努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・大部屋が施設の奥に配置されているため、〈入口→手洗い場→大部屋〉の導線を整え、お子様が混乱せず支援に入れる環境づくりを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・日々の清掃を徹底するとともに、危険箇所等がないか職員同士で気づいた点を共有し、改善に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・お子様の状態を最優先に考え、安心して過ごせるスペースの確保に努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	・支援内容について振り返りを行い、次回につながるフィードバックを職員間で共有しながら改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・いただいた評価を職員全員で共有し、より良い支援につながるよう改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・いただいた評価を職員全員で共有し、より良い支援につながるよう改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・保護者様や関係機関、他事業所からいただいたご意見を共有し、業務改善に活かしています。	・本部からの指導や監査を基に、適切な運営水準の維持・向上に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・職員の疑問や課題に応じて、必要な知識や技術について児童発達支援管理責任者を中心に共有し、支援の質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・てらびあぼけっと公式HP上に公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・ヒアリングやアセスメントを基に、お子様一人ひとりの特性や状況に合わせた支援計画の作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・関係する職員間で見解を共有しながら、支援計画の作成を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・支援計画やヒアリング資料を作成し、職員間で閲覧・共有できるよう適切に管理しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・行動記録を取り、状況に応じて共有事項を確認しながら、職員間での対応の統一を図り支援を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに基づき支援内容を適切に設定・提示しています。また、支援内容や計画書についてご不明点があった際には、別途ご説明いたします。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・職員間で支援前に当日のプログラム内容を確認し、共通理解を図ったうえで支援を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・お子様の様子に合わせて、調整するプログラムと継続して取り組むプログラムについて職員間で話し合い、工夫しながら支援を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・お子様の状況に応じて柔軟に支援計画を立て、支援を行っています。また、保護者様から伺う日頃の様子についても支援内容に反映しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・ホワイトボードやデータファイル等を用いて、使用する教材や各部屋の時間配分について毎朝職員間で共有・確認を行い、支援を実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6		・毎日必ず支援の振り返りを行い、家族支援の内容の共有や気になった点について話し合い、次回の支援につながるよう心がけています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・各種データを用いて記録を残し、次回の支援目標についてもデータを基に組み立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6か月ごとのモニタリングに加え、日々のフィードバックの時間をいただき、支援内容のずれや不安が生じないよう努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・代表および管理者が地域のネットワークや自立支援協議会、子育て支援拠点等の会議・集まりに参加し、関係機関との連携を図りながら包括的な支援の実現を目指しています。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・近隣のクリニックや基幹相談支援センター等の関係機関と連携を図り、必要に応じて相談を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・保護者の同意のもと、保育所等への訪問や他事業所への訪問を行い、お子様が混乱しないよう支援方法や関わり方について関係機関と連携を図っています。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・ご希望に応じて引き継ぎ書を作成し、支援計画と併せてお渡しするなど、円滑な引き継ぎに努めています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・地域協議会やこども部会の研修に参加し、助言等をいただきながら支援の質の向上に努めています。	・支援センターとの連携の機会をさらに増やせるよう、今後も働きかけを行っていきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	・子育て支援拠点や保育所訪問等を通じて職員が関わる機会がありますが、現状ではお子様同士が関わる機会は設けられていません。	・地域の他のお子様との交流については、人知れず当教室をご利用になりたい方もいらっしゃるから、現状では実施の予定はございませんが、地域で開催されるイベント等の情報発信には努めてまいります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・週に一度、無理のない範囲でお子様のご様子について保護者様と共有するお時間をいただいています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・ご家庭でのお困りごとに対して、ご希望があった際には助言や支援を行い、保護者様へのサポートにも努めています。	・ご家族が参加できる研修は設けていませんが、ご家庭での関わり方やアドバイスをご希望の際には、いつでもご相談ください。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・重要事項説明の際にご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・必ず保護者様のご希望、ご意向を確認し、作成した計画書に同意を頂いています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・同上	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・週に一度、無理のない範囲でお子様のご様子について保護者様と共有するお時間をいただいています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		・現在、そのような機会は設けておりませんが、アンケート等を実施し、保護者様からのご希望が多く寄せられた際には開催について検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・ご相談の申し入れがあった際には日程を調整し、相談の時間を設けるとともに、その後も必要に応じて定期的なフォローアップの機会を設けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・各種SNSでの発信を行っています。	・支援の準備や相談支援を優先していることから、情報発信の頻度は多くありませんが、今後はリタリコ発達ナビやInstagram、Googleの投稿欄等を通して発信の頻度を高め、教室の様子をお伝えできるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報に関する書類は、鍵付き書庫にて施錠のうえ適切に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・夜間しか落ち着いてご連絡が取れない保護者様に向けて、教室公式LINEを活用し連絡を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・事業所の見学に地域の方々や支援者の方々にお越しいただきました。	・事業所として地域の方に向けた行事は現在開催しておりませんが、地域の方との交流可能なイベントの告知などは掲示しております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・相談室内にファイルとしてまとめ、職員がいつでも閲覧できるようにしています。また、ガイドラインに則り定期的に訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・ガイドラインに則り実施しています。また、相談室にBCP関連のファイルをまとめ、いつでも確認できるようにしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・利用児童の既往歴にあわせて必要な研修を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・食事の提供はしていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・ガイドラインに則って行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・教室内にご案内を掲示しております。	・周知が足りていないとお声を頂いたので、掲示に加え、今後はSNSでの発信、配布などを行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ガイドラインに則って行っています。再発防止に向けて職員間で検討、実地しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・ガイドラインに則って行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・重要事項説明の時にご案内しております。	

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぼけっと中山駅前教室			
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～	2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	25名
○従業員評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価作成日	2026年3月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児童一人ひとりに合わせた支援を行うとともに、現在行っている支援の目的についても丁寧に説明し、通所に対する不安の軽減に努めています。	個別支援・小集団支援いずれの場合も、基本的に一人の児童に対して一人の職員が支援を行う体制をとるとともに、支援にずれが生じないように定期的に今の支援内容のご説明や保護者支援を行っています。	集団生活や社会の中でお子様の力が発揮できるよう、個別支援から小集団支援、ソーシャルセラピーへと段階的につなげ、支援の幅を広げながら支援の質の向上を図っていきます。
2	保護者様の無理のない範囲で、週に一度、日々の様子やお困りごと、不明点などについて共有するお時間をいただき、家族支援の一環として実施しています。	家族支援の時間が保護者様のご負担とならないよう、日時やタイミングに配慮しています。また、共有いただいた情報を日頃の支援に反映し、不明点や不安の解消につなげています。	話しやすい環境や関係性の構築に引き続き努めるとともに、相談自体がご負担とならないよう、職員間で振り返りやフィードバックを行い支援の質の向上に努めていきます。
3	幼稚園・保育園や他事業所等の関係機関を訪問し、支援内容の共有を行うとともに、関係機関との連携・支援の強化に取り組んでいます。	保育所等訪問や関係機関との連携について、ご希望の有無を確認し、ご希望があった場合には速やかに訪問しています。家族支援の中で伺った情報等をもとに訪問先で実際の様子を確認するとともに、担任の先生等と情報共有を行い、児童への関わり方について双方で確認しています。	訪問可能なタイミングで対応していますが、より定期的な連携が図れるよう、時間や人員の確保について長期的な取り組みとして体制の整備を引き続き進めていきます。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内の環境については概ね安心して利用できるとの意見が多い一方で、靴の着脱時の段差など、より使いやすい環境に関する具体的な提案が見られた。	安全面や自立を促した支援の構造上の制約を踏まえて環境を整備しているが、利用者の視点から見ると細かな使いにくさが残っている可能性がある。	安全面を最優先としながら、ご希望の方へ踏み台の提供など小さな環境改善を検討するとともに、利用者の意見を参考にしながら安心して利用できる環境づくりを継続していく。
2	支援内容への評価は高いものの、活動時間の表示方法や支援の目的・課題の説明について、より分かりやすい情報提供を求める意見が見られた。	個別支援を中心とした専門的な支援を行っているため、支援の目的や活動時間の考え方が保護者に十分伝わりきっていない場合がある。	活動時間の表示方法や支援の意図について説明方法を見直し、面談や日々のやり取りを通して、保護者が理解しやすい形で支援内容の共有を行っていく。
3	保護者との個別相談は充実しているが、保護者同士の交流機会や子どもの成果を共有する機会についての要望が一部見られた。	個別支援を中心とした療育形態のため、保護者同士が自然に交流できる機会や活動成果を共有する場が少ない状況にある。	保護者の負担にならない範囲で、交流の機会や活動成果を共有できる方法について、アンケートを実施しニーズを確認しながら検討していく。